

三沢市議会

議会だより

2014.8.1. No.30

平成26年第2回定例会の内容のほか、私たち議会の活動をわかりやすくお伝えします。

● CONTENTS ●

特集	P2
定例会開催	P4
一般質問	P7
委員会活動	P10
市議会レポート	P14



特集

夢に向かって

木崎野小
バレーボールクラブ

特集

夢に向かって

さあ全国大会へ！



議会だよりの特集記事は、市内で活動しているスポーツ少年団を中心に取り上げていきます。

記念すべき創刊号を飾っていただくのは、木崎野小バレーボールクラブです。

チームの目標は？

6月28日に行われる全国大会青森県予選大会で優勝して全国大会へ出場すること。そして、全国でベスト8に入ることです。

メンバーの構成は？

6年生2人、5年生3人、4年生4人、2年生5人の合計14人で頑張っています。

バレーボールは楽しいですか？

(みんな一斉に) たのしいー!!

今のチームは地区大会、県大会で2回優勝しているとのこと。強さの秘訣は？やっぱり自分たちの力？

いえ、いえ。自分たちの力というより、大塚監督の指導と練習メニューが良いと思います。あと、「親の会」の協力があるからだと思います。

(小笠原と田中君なら「メンバー」じゃないかな)





◆全日本バレーボール小学生全国大会

- 平成8年出場
 - 平成9年出場
 - 平成10年出場
 - 平成11年出場
 - 平成13年出場
 - 平成15年出場
 - 平成17年出場
 - 平成19年出場
 - 平成20年出場
- (ベスト8・敢闘賞受賞)

◆スポーツ少年団バレーボール全国大会

- 平成20年出場
 - 平成25年出場
- (ベスト8・敢闘賞受賞)

◆東北小学生バレーボール選手権大会

- 平成8年出場
 - 平成9年出場
 - 平成10年出場
 - 平成11年出場
 - 平成13年出場
 - 平成15年出場
 - 平成16年出場
 - 平成17年出場
 - 平成18年出場
 - 平成19年出場
 - 平成20年出場
 - 平成22年出場
 - 平成24年出場
 - 平成25年出場
- (第3位)
(敢闘賞受賞)
(優勝)
(準優勝)
(準優勝)
(準優勝)
(準優勝)
(準優勝)
(準優勝)
(準優勝)
(準優勝)
(準優勝)
(準優勝)
(準優勝)

これまでの歩みは？

木崎野小バレーボールクラブは、平成7年4月に学校の部活動として発足しました。幸いにも勝ち運に恵まれて、平成8年から11年と4年連続で全国大会に出場することができました。その後も選手の活躍で現在に至るまでに、小学生バレーボール全国大会に9回、スポーツ少年団全国大会に2回出場しました。今は、父母の協力を得ながら、選手一丸となって大きな夢に向かって頑張っています。



同クラブは、大塚監督をはじめ親の会やその他父母の協力を得ながら週6日2時間半程度練習しているとのこと。6月17日に取材させていただいた後、全日本バレーボール小学生大会青森県大会で優勝し、6年ぶりとなる全国へのキップを手に入れました。

努力は裏切らない……。サッカー日本代表本田圭佑選手の言葉ですが、そのとおりですね。

全国大会での活躍を心から期待するとともに、私たち市議会の取材を快く引き受けていただきまして、ご協力に感謝いたします。

平成26年第2回定例会が 開催されました。

会期11日間 6月9日～6月19日

今回の議案

市長提出議案…16件

請願…1件

議員提出議案…3件

計20件



【議員提出議案第6号】手話言語法制定を求める意見書の提出について

「手話言語法」制定を求め る意見書を国会へ提出

今定例会に提出された「請願第2号 手話言語法制定を求める意見書の提出に関する請願」が、本会議で採択となり、私たちが市議会は、衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣に意見書を提出することに決定しました。

提出理由

手話が音声言語と対等な言語であることを広く国民に広め、きこえない子どもが手話を身につけ、手話で学び、自由に手話が使え、更には手話を言語として普及、研究することのできる環境整備に向けた法整備を国として実現することが必要と考えるため。



【議員提出議案第7号】 農業委員会委員の推薦について

現委員の任期が満了となることから、後任の委員を推薦しました。

農業委員会等に関する法律の規定では、当該市町村の議会が農業委員会の所掌に属する事項につき学識経験者を有する者を推薦することになっています。平成26年7月19日をもって現委員の任期が満了となることから、市議会が、後任の委員4人を推薦しました。

議会が推薦した方

立崎 京子 氏
佐々木 和枝 氏
一戸 実 氏
新堂 武男 氏

※農業委員会等に関する法律

(選任による委員)

第十二条 市町村長は、選挙による委員のほか、各号に掲げる者を委員として選任しなければならない。

一 農林水産省令で定める農業協同組合、農業共済組合及び土地改良区がそれぞれ推薦した理事（経営管理委員を置く農業協同組合にあつては、理事又は経営管理委員）又は組合員各一人

二 当該市町村の議会が推薦した農業委員会の所掌に属する事項につき学識経験者を有する者四人（条例でこれより少ない人数を定めている場合にあつては、その人数）以内

【議員提出議案第8号】 三沢駅周辺地域等活性化対策特別委員会について

三沢駅周辺地域等活性化対策特別委員会を設置しました。

三沢駅周辺整備事業の整備促進と併せ、市内外へのアクセス向上をはじめとした交通体系強化を図り、市民生活の更なる向上と観光施策の活性化を図ることを目的に活動していきます。

◆名称

三沢駅周辺地域等

活性化対策特別委員会

◆定数

8名

◆調査方法

- (1) 主管部・課等から聴取及び資料収集による。
- (2) 必要に応じて現地調査・視察を行う。

◆調査期間

平成28年3月末日まで



※委員名簿は11ページに掲載しています。

平成26年第2回定例会賛否結果

○・・・賛成 ×・・・反対 欠・・・欠席 退・・・退席 棄・・・棄権
 除・・・除斥（地方自治法第117条の規定により、審議事件と一定の利害関係を有するため審議に参加することができない者）
 一・・・議長は採決に加わりません。ただし可否同数の場合のみ表決権があります。

議案番号	件名	賛成	反対	議決結果	小比類巻雅彦	高橋武志	加澤明	奥本菜保巳	瀬崎雅弘	澤口正義	鈴木重正	太田博之	野坂篤司	春日洋子	西村盛男	堀光雄	小比類巻正規	船見亮悦	馬場騎一	山本彌一	堤喜一郎	森三郎
議案33	専決処分の承認を求めることについて（平成25年度三沢市一般会計補正予算（第6号））	17	0	承認	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案34	専決処分の承認を求めることについて（平成25年度三沢市一般会計補正予算（第7号））	17	0	承認	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案35	専決処分の承認を求めることについて（平成26年度三沢市国民健康保険特別会計補正予算（第1号））	17	0	承認	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案36	平成26年度三沢市一般会計補正予算（第1号）	17	0	可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案37	平成26年度三沢市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	17	0	可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案38	平成26年度三沢市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	17	0	可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案39	平成26年度三沢市立三沢病院事業会計補正予算（第1号）	17	0	可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案40	専決処分の承認を求めることについて（三沢市税条例等の一部を改正する条例の制定について）	17	0	承認	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案41	専決処分の承認を求めることについて（三沢市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について）	17	0	承認	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案42	専決処分の承認を求めることについて（三沢市承認企業立地計画に従って設置される施設に係る固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例の制定について）	17	0	承認	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案43	三沢市行政改革推進委員会設置条例の一部を改正する条例の制定について	17	0	可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案44	三沢市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	17	0	可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案45	三沢市法定外公共物管理条例の一部を改正する条例の制定について	17	0	可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案46	三沢市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について	17	0	可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案47	上北地方教育・福祉事務組合規約の変更について	17	0	可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案48	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	17	0	可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願2	手話言語法制定を求める意見書の提出に関する請願	17	0	採択	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議提6	手話言語法制定を求める意見書の提出について	17	0	可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議提7	農業委員会委員の推薦について	17	0	可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議提8	三沢駅周辺地域等活性化対策特別委員会の設置について	17	0	可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

一般質問

私たち議員が広く市政に関する質問を行います。

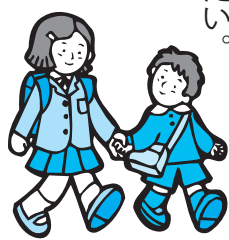


奥本 菜保巳 議員



Q 就学援助制度の入学準備金は、3月支給に前倒しすべきではないか。

A 教育委員会では、入学準備のための新入生児童生徒用品費等に係る就学援助の認定と事務手続きを、4月1日から在籍する児童生徒を対象に入学式以降に行い、9月に支給している。3月支給実施については、新年度4月以降の申請に伴う就学事務作業が多岐にわたるほか、年度末・年度初めの転出入学もあり、難しい状況にある。しかし、新入生学生のための就学援助であることから、事務を迅速に進め、来年度から小中学生とも、6月を目途に認定できた者から順次支給を開始できるよう進めていきたい。



Q 米軍等の人員削減などの基地の縮小に対しては、基地従業員の身分保障、外人ハウスの利活用を含む「三沢市再生」への責任を県・国に対して求めるべきではないか。

A 当市では、「基地の所在は、国家的要請に基づくものであり、基地所在により生ずる様々な問題については、国の責任において解決すべきである。」との認識のもと、これまで対処してきたところであり、今後においても諸問題の解決に努めていく。

Q 自立への経済転換が必要ではないか。

A 基幹産業である農業と水産業の振興のほか、地域の自立と地域雇用を生み出す循環型の地域経済の確立に向け取り組むことで、自立した産業・経済構造を構築していきたい。

高橋 武志 議員



市民の生活スタイルや街中の社会環境が大きく変わってきている。その環境から、市民の生命を第一に守る事が大事である。夜間における市民の安全・安心なまちづくりに、防犯灯の必要性は欠かす事のできない大きな役割を担っている。

Q 防犯灯、街路灯等の設置状況と、その維持管理は。

A 照明施設は、その目的によって設置され、防犯灯、商業灯、道路照明灯、また公園内の照明灯を合わせて、現在7千961基設置されている。維持管理については、商業灯は12商店会に維持管理をお願いしており、防犯灯については、各町内会から、球切れ等の連絡を受けた際は、迅速に対応している。

Q 防犯灯等に関する要望、苦情等の窓口相談状況とその対応は。

A 市民から防犯灯に関する要望、苦情等は、平成25年度においては、蛍光灯交換が109件、修繕が113件あったが、いずれも迅速に対応したところである。また、新設要望のあった8件を整備したところである。

Q 防犯灯を共用してある商業灯の故障や街路灯の球切れが見受けられるが、その維持管理の現状と管理基準は。

A アーケード街の防犯灯が、故障等で一部修理が必要であることから、関係自治会や商工会等と検討して市民の生活に支障がないように対応していく。今後においても安全・安心なまちづくりを推進するために適切な防犯灯の整備に努めていく。

春日 洋子 議員



Q 本市の空き家の現状とこれまでの取組は。

A 平成24年度の市内の空き家総件数352戸で、そのうち管理上問題があるものは152戸という状況である。

Q 空き家バンクの取り組みは。

A 先進自治体の現状や課題を十分調査・研究しながら検討していきたい。

Q 「地域包括ケアシステム」に対する本市の考え方は。

A 圏域ごとのアンケート調査を実施し、地域の課題やニーズの把握に努め、介護保険事業運営協議会においても、ご意見やご提言をいただきながら、市の実情を盛り込んだ計画を策定する予定である。

Q 認知症に対する取り組みは。

A 認知症サポーター養成講座の開催や家族介護教室の開催、介護予防教室などを実施している。今年度新たに「三沢市徘徊SOSネットワーク（通称あんしんネット）」を立ち上げている。

Q 保健所や動物愛護センターに持ち込まれる犬猫の数と殺処分数の現状は。

A 平成24年度、本市からは犬が49頭、猫が21匹、引き取り・収容等されている。

Q 殺処分を減らすための普及・啓発は。

A 国、県、警察、獣医師会、動物愛護団体等と連携を図りながら、動物愛護思想の普及啓発に取り組んでいきたい。

山本 彌一 議員



Q本市は国に対し、浜三沢地区、岡三沢5・6丁目地区の移転を要望しているものの、実現が図られていない。特別対策の集団移転を要望する考えはあるか。

A両地区の皆様方からのご要望を踏まえ、集団移転を視野に入れ、国と交渉してきたところであるが、これまでの先例が示すとおり、一朝一夕には解決しがたい問題であるため、市議会の力もお借りしながら、引き続き国等の関係機関に両地区の早期移転を求めていきたい。



Q人口減少に向かう日本。市は人口減少についてどう受け止め、今後どのように対応するのかが。

A市としても人口減少の急速な進行は、最重要課題であると認識しており、今後は、地域課題や市民ニーズを明らかにしたうえで、ソフト事業を検討するとともに、三沢駅周辺整備や新たなニュータウン構想などについても重点的に取り組んでいきたい。

Q豚流行性下痢の本市の対策と本市食肉処理センターへの影響は。

Aおいらせ農業協同組合との共同事業により、市内養豚農家へ消毒用石灰の無料配布を実施したところである。本市食肉処理センターの影響については、処理頭数が今年度の当初計画より4千600頭の減、事業収入が約1千万円程度の減収と見込んでいる。

太田 博之 議員



Q市民の自主的なボランティア活動については無保険のまま事業が行われている場合もあると思う。「市民活動保険制度」の導入を急ぐべきと思うが。

A公益的な市民活動への参加を一層促進し、市民との協働によるまちづくりの観点から、市民団体のご意見を伺い、先進自治体を参考として調査・研究していきたいと考えている。



Q「三沢市都市計画マスタープラン」では、堀口中学校の南側と三沢病院周辺地域は「土地利用検討地区」に指定されているが、今後の都市計画の方向性は。

A中心市街地の進展、人口動態、民間開発の動向など、三沢市全体の方向性を見極めながら、当街区の都市エリアとしてのあり方を検討している。

Q浜三沢の移転先の町名整理は、今後のどのように対応していくのが。

A移転先地住民の利便性向上のため、みなさんのご協力を得ながら、法務局や県と協議し、町名整理の実施に向けて努力していく。



委 員 会 活 動

三沢市議会には、まちが抱える問題を議員全員で話し合う場と、専門的に調査して話し合う委員会があります。

三沢市議会の委員会には、常に設置されている常任委員会、議会運営委員会と必要に応じて設置される特別委員会があります。

ここでは、それぞれの委員会の活動を掲載していきます。



三沢市議会には、2つの特別委員会、3つの常任委員会と議会運営委員会を設置しています。

議会運営委員会

委員長
副委員長

馬場 騎一
瀨崎 雅弘
高橋 武志
澤口 正義
太田 博之
堀 光雄
山本 彌一
堤 喜一郎

基地対策特別委員会

委員長
副委員長

船見 亮悦
澤口 正義
瀨崎 雅弘
太田 博之
春日 洋子
小比類巻 正規
堤 喜一郎
森 三郎

三沢駅周辺地域等活性化対策特別委員会

委員長
副委員長

西村 盛男
高橋 武志
加澤 明
奥本 菜保巳
鈴木 重正
堀 光雄
馬場 騎一
山本 彌一

総務文教常任委員会

委員長
副委員長

鈴木 重正
堀 光雄
野坂 篤司
船見 亮悦
馬場 騎一
堤 喜一郎

産業建設常任委員会

委員長
副委員長

加澤 明
瀨崎 雅弘
奥本 菜保巳
西村 盛男
小比類巻 正規
森 三郎

民生常任委員会

委員長
副委員長

太田 博之
高橋 武志
澤口 正義
春日 洋子
山本 彌一

基地対策特別委員会

本委員会は、基地所在に起因する諸問題を調査、解明し、基地周辺住民の民生安定と福祉向上に資することを目的に活動しています。活動の柱として行ってきた基地周辺対策に関する国への要望を今年度も引き続き市とともに実施することといたしました。今年度は11の項目を要望して参ります。

平成26年度要望事項

- 1 三沢飛行場第2滑走路の早期着工について
- 2 住宅防音工事に係る制度等の是正について
- 3 地域の実情に応じた移転措置について
- 4 特定防衛施設周辺整備調整交付金の増額について
- 5 再編交付金の交付期間の延長について
- 6 集団移転跡地の有効利用について
- 7 生活環境施設等の整備に対する支援について
- 8 航空機騒音の規制措置について
- 9 基地周辺住民対策の充実について
- 10 地域振興に対する支援について
- 11 基地交付金及び調整交付金の改善について

産業建設常任委員会

去る5月27日に「スカイプラザミサワの運営状況について」と「豚流行性下痢に係る市の現状と対応について」を調査しました。

スカイプラザミサワの運営状況について、昨年度は、新規のテナントが2件入居となったほか、自主イベントを開催するなど、積極的に集客に努めた結果、売上は昨年度から約2倍と伸びているものの、約958万円の赤字となったこととあります。また、スカイプラザミサワのコンセプトを各店舗に反映させたことにより、市外からの来客数が増加傾向にあることから、今後においても広域的なビジネスを計画し、展開していくこととあります。なお、5月に開かれた株主総会において、役員が交代したとの説明がありました。

豚流行性下痢に係る市の現状と対応について、市としては、県の緊急消毒期間に併せて、消石灰を市内養豚生産者7農場に対し無料配布したとのことでした。また、三沢市食肉処理センターの運営への影響についても説明があり、当初年間処理頭数で3千900頭弱の減に、使用料については、1千12万4千円の減となると予想しているものの、当該施設の運営には、特に影響はないとの説明がありました。



民生常任委員会

去る6月11日に「一般廃棄物処理基本計画」について調査しました。執行部から、現在の「一般廃棄物処理基本計画」は、平成19年度から平成28年度までの10年間としており、あと2年で終了することから、新たな基本計画では、期間を平成26年度から平成35年度までとし、市民等の意見を踏まえ、1日1人当たりのごみ排出量を平成23年度実績の1千94グラムまで減量する新たな目標数値案と、目標達成に向けた施策について説明を受けました。

委員からは、県内でもリサイクル率が低く、家庭から出るごみの量が多い当市では、ごみの減量対策についての質問に対し、焼却施設から出る償却灰をセメントにリサイクルすることで対応できるが、経費が掛かるなど課題があるが、選択肢の一つと考えているとの説明がありました。

また、ごみ減量化に繋がる将来を見据えた処理施設を考えるべきとの提案には、環境に負担を掛けないライフスタイルの転換が第一であり、よりごみを少なくする社会の構築に向け、新しい施設についても

市民の意見を集約し、今後、国や県に要望していくとのことです。



グローバル・ホークを見学しました。

米空軍無人偵察機グローバル・ホークの三沢基地への一時展開による配備が完了したことに伴い、米空軍は、5月30日に市議会議員などに対して同機を公開しました。一時展開の期間は、毎年5月頃から10月頃までの間を予定しているとのことです。

概要

米空軍保有の高高度対空型無人偵察機

- ・画像等の情報収集を実施
- ・攻撃能力なし
- ・高度約1万5千以上で航行
- ・無線通信及び衛星通信により地上から操縦

運用方法

週2回程度の運用を予定。

離発着時は、三沢飛行場に所在するパイロットが地上より操縦。一定高度に達した段階で、米本土のパイロットが地上より操縦。



議

員

表

彰

去る5月28日に東京都で開催されました全国市議会議長会第90回定期総会と、5月15日にむつ市で開催されました平成26年度青森県市議会議長会第1回定期総会において、当市議会の議員が表彰及び感謝状を受け、平成26年第2回定例会の開会日にその伝達を行いました。

全国市議会議長会 一般表彰



(左から) 太田博之議員、野坂篤司議員、春日洋子議員、堀光雄議員

太田博之議員
野坂篤司議員
春日洋子議員
堀光雄議員

全国市議会議長会

評議員としての感謝状

青森県市議会議長会

会員としての感謝状

船見亮悦 議員



(左から) 小比類巻雅彦議長、船見亮悦議員

開かれた議会を 目指して

私たち三沢市議会は、常任委員会や特別委員会のほかに、市民の皆様には議会に対する理解と関心を深めていただくことを目的に、広報委員会を設置しました。

広報委員会では、議員の声、議員の手で広報誌を発行し、市民の皆様には議会のおさまさまな活動をお伝えしていきます。また、広報誌の発行のほかに議会のホームページ、その他広報に関すること全般に取り組んでいきます。

広報委員会委員

委員長 太田博之
副委員長 高橋武志

奥本菜保巳
瀬崎雅弘
鈴木重正
西村盛男
船見亮悦

傍聴してみませんか

議会では、市民生活に直結した重要な問題が審議されています。市民の皆様が選んだ議員の活動や市政の動きを知るためにも、ぜひ議会の傍聴にお越しください。

なお、傍聴席は50席と限りがありますので、団体等で傍聴される方は、事前に議会事務局までご連絡ください。

会議録を閲覧できます

市議会では、本会議の会議録を定例会、臨時会ごとに発行しています。市役所本館1階に設置されている情報公開コーナーで自由に閲覧できますので、ご利用ください。



請願・陳情の提出方法

市民の皆様のご要望を市政に反映させる方法のひとつに請願や陳情があります。議員の紹介があるものを「請願」、ないものを「陳情」といいます。提出された請願や陳情は、それぞれの委員会で慎重に審議され、採択されたものは、市長にその実現を要望したり、関係機関等に対し意見書や要望書として提出されます。

提出に必要な記載事項

- (1) 請願（陳情）の名称
- (2) 請願（陳情）の趣旨と要望事項
- (3) 請願（陳情）者の住所、氏名、押印
（2名以上の場合は、代表者名をお書きください）
- (4) 請願として提出する場合には、紹介議員の署名または記名押印
- (5) 提出年月日
- (6) 宛名（三沢市議会議長あて）

提出場所

三沢市役所本館4階の議会事務局に持参してください。

受付締切

請願については、原則、定例会の運営を協議する初回の議会運営委員会の前日まで、陳情については、招集告示日が締切となります。なお、締切後に提出されたものについては、次の定例会での扱いとなります。

受付時間

平日8時15分～17時00分

詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

TEL 0176-53-5500

(表紙)

〇〇に関する請願（陳情）書
提出者 住所
氏名
紹介議員〇〇〇〇印

(本紙)

〇〇に関する請願（陳情）書
1 要旨
2 理由
以上のとおり請願いたします。
平成 年 月 日
住所
氏名
三沢市議会議長 〇〇〇 殿

三沢市議会だよりの名称を募集します

三沢市議会では、私たち議会の活動状況をより多くの方々に知っていただくため、約10年ぶりに三沢市議会だよりを発行いたしました。市民の皆様から親しまれる、またコミュニケーションが図られる議会広報誌となるよう、三沢市議会だよりの「名称」を募集します。

募集期間 平成26年8月31日（日）当日消印有効

応募要件 三沢市内、市外にかかわらず、どなたでも何件でも応募できます。

応募要領 <<応募先>> 〒033-8666 青森県三沢市桜町1-1-38
TEL/FAX：0176-53-5500
E-mail：gikai@city.misawa.lg.jp

次のいずれかの方法でご応募ください。

① ハガキでのご応募

官製はがき（表） 033-8666 青森県三沢市桜町1-1-38 三沢市議会事務局 行	官製はがき（裏） ●議会だよりの名称（ふりがな） ●名称の理由 ●住所 ●氏名（ふりがな） ●年齢 ●性別 ●電話番号
--	--

※応募箱は市役所ロビー、三沢市総合社会福祉センター、市立三沢病院ロビーに設置しています。

② FAXまたは電子メールでのご応募

③ 応募箱への投函※

三沢市議会だよりの名称応募用紙			
議会だよりの 三沢市議会事務局 行	FAX:0176-53-5500		
名称 (ふりがな)			
名称の理由			
住所			
氏名 (ふりがな)			
性別	男・女	年齢	歳
電話番号			

詳しくは、三沢市議会ホームページをごらんください。

三沢市議会

検索

<http://www.city.misawa.lg.jp>

三沢市議会だよりは14,000部発行し、1部あたりの印刷製本費28円です。